

みずほCustomer Desk Report 2017/11/06号(As of 2017/11/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	114.02	1.1660	132.95	0.9990	1.3055	0.7714
SYD-NY High	114.43	1.1691	132.98	1.0025	1.3134	0.7716
SYD-NY Low	113.61	1.1599	132.40	0.9947	1.3040	0.7639
NY 5:00 PM	114.07	1.1606	132.41	1.0005	1.3076	0.7651
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	6.98/7.31		△25RR	0.563	Yen Call Over	

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.1610	0.0550	1.6145	1.9900	2.3325	0.3640	1.2620	2.5720
	-	-	▲1.0bp	▲1.2bp	▲0.8bp	▲0.2bp	▲8.2bp	

	USD/CNH	ドルインデックス	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
為替市況	6.6365	94.94	189.380	1,269.20	55.64	59.07
商品市況	0.0297	0.26	1.25	▲8.90	1.10	0.55

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月3日	07:15	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	9月 0.0%	0.4%
	10:45	中 Caixinサービス業/総合PMI	10月 51.2/51.0	-/-
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	10月 261K	313K
	21:30	米 失業率	10月 4.1%	4.2%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	10月 0.0%/2.4%	0.2%/2.7%
	21:30	米 貿易収支	9月 -\$43.5B	-\$43.2B
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	10月 60.1	58.5
	23:00	米 製造業受注指数	9月 1.4%	1.2%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	10月 2.0%	2.0%
	23:00	米 耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・確報	9月 0.7%	-
	23:45	米 マークイットサービス業/総合PMI・確報	10月 55.3/55.2	55.9/-
11月4日	01:15	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

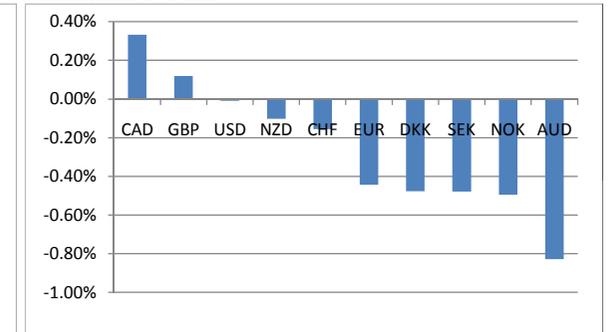
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月6日	08:50	日 日銀議事要旨(9/20-21開催分)	-	-
	10:00	日 黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	16:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	9月 -1.1%/7.1%	3.6%/7.8%
	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	9月 55.2/56.9	55.2/56.9
	18:00	欧 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	9月 54.9/55.9	54.9/55.9
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	9月 0.4%/2.7%	0.3%/2.5%
11月7日	02:10	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 インタビュー	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



アジア	アジア時間のドル円は114.02レベルでオープン、日本が祝日で市場参加者が少なかったことに加え、米10月雇用統計の発表を控えており、様子見ムードから狭いレンジ内での推移となった。値幅16銭と狭いレンジでの揉み合いに終始し、朝方とほぼ変わらずの水準となる113.98レベルで海外へ渡った。豪ドルは下落する展開となった。対ドルで0.7714レベルでオープン。弱い豪9月小売統計を受けて0.76台後半まで下落。その後もじり安推移となり、0.7680レベルで海外へ渡った。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は動意に乏しい推移となった。113.98レベルでオープン、日本が祝日であることや米10月雇用統計の発表を控えて114円台前半で小動きが続き、114.10レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは1.3073レベルでオープン、英10月サービス部門PMIは55.6と6か月ぶりの高水準となり1.3079を付けた。しかし、前日のBOEの結果も意識され上値は限定的となった。1.3095レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	ドル円は114.10レベルでNYオープン、朝方発表された米10月雇用統計は、非農業部門雇用者数変化(NFP)、平均時給とともに予想を下回ったことから、発表直後は米金利と共にドル円は安値113.61まで急落。しかし、ハリケーンの影響もあり3ヶ月で均してみるとNFPは+162kと良好であることや、広義の失業率(U-6)と共に失業率も4.1%と2000年12月以来の水準まで改善するなど、労働市場が引き続き堅調であることを確認できる内容であったことから、米金利と共にドル円はすぐに発表前の水準を回復。その後、予想比強めの米10月ISM非製造業景況指数(総合)を受け、高値114.43まで上昇。しかし、4月以降何度もレンジ外となっているこの水準ではドル売り圧力も強く、失速。午後は週末を控え、積極的に上値を迫る展開とはならず、114.00まで下落し、114.07レベルでクロスした。なお、「ハッチ米上院財政委員長、上院税制法案は来週末にかけて公表」とのヘッドラインが流れたが相場への影響は限定的となった。一方ユーロドルは1.1648レベルでNYオープン。米10月雇用統計発表直後のドル売りを受け、高値1.1691まで上昇したが、ドル反発を受けてユーロドルも発表前の水準に下落。その後、良好な米10月ISM非製造業景況指数を受け一段とドル買いが強まったことから、ユーロドルは一段と下落幅を拡大し、1.1599まで下落。この水準では下げ渋ったが、その後も上値の重く推移し、1.1606レベルでクロスした。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.70-114.50	1.1570-1.1650	132.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日の海外市場でのドル/円は神経質な値動きとなった。木曜日にパウエル氏が次期FRB理事に指名され、米共和党の税制改革案が発表されたものの、金曜日のアジア時間のドル/円は114円丁度を挟んで揉み合う展開。米国時間に発表された米10月雇用統計が非農業部門雇用者数変化、平均時給がいずれも弱い結果となったことで113.61まで下落するも、米国労働市場の堅調基調は変わらずとの思惑からすぐに114円台を回復。その後発表された強い米10月ISM非製造業景況指数を受け、ドル/円は一時114.43まで上昇するも上値は重く、結局114.07付近でクロースした。本日のドル/円は方向感に欠ける展開を予想する。一連の重要イベントが消化されたものの、いずれもドル/円のドライバーとはならず、既往レンジ内に留まる結果となっている。本日は日米首脳会談、共同記者会見といったイベントが予定されているものの、ドル/円へのインパクトは限定的となり、動意に乏しい展開となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。